

小学校再編計画（案）の検討状況について（経過報告）

小学校再編計画（案）については、9月議会の全員協議会で市民の皆様、議員の皆様からいただいたご意見を参考にしながら、さらに多くの市民の皆様にご理解いただけるよう、現行案を含めて、あらためて検討することを説明させていただいていました。

本日は、あらためて推計いたしました児童数と今後、比較検討する新たな再編案の絞り込みなど現時点での検討状況について説明させていただきます。

1. 児童数推計

今までの説明会等では、2016年度（H28年度）までに出生した就学前児童を基に2023年度（H35年度）の児童数推計値を示していました。

今回は、2017年度（H29年度）までに出生した就学前児童を基に2019年度（H31年度）から2024年度（H36年度）までの児童数を推計しています。

今回の推計では、従前推計と比較し筑後中学校区のH35年度児童数は851名から899名（H36年度877名）に上方修正となり、特に二川校区の増加傾向が顕著に出ている結果となっています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の市町村ごとの人口推計が5年ぶりに出されています。その結果、筑後市の児童数が減少していくことには変わりがないものの、本市の移住・定住の取組の効果もあり、前回推計と比較すると減少のスピードは鈍化しています。

2. 比較検討する再編案

提案していた6校統合案は、当面の重点課題である小規模校の複式学級回避と老朽化している校舎整備に併せて、長期的な視点で将来の児童数減少を見据えた持続可能な教育環境を作ろうというものでした。

しかしながら、6校統合案には多くの方から期待を寄せていただいた

反面、賛成の方にも一気に大規模校となることに不安を抱かれる方が多くいらっしゃいました。

また、「段階的に再編したらどうか」、「6校を2～3校に集約したらどうか」、「新小学校の設置場所について筑後中学校隣接地の方が良いのではないか」といった意見もたくさんいただきました。同時に、6校統合案に関するアンケート結果について校区毎に分析すると、「進めてほしい」「進めるのは仕方ない」「中止してほしい」の割合にばらつきがあったところです。

比較検討する新たな再編案は、皆様のご意見に配慮するとともに、将来的な児童数推計も減少率の改善が見られることを考慮し、当面の課題である小規模校の複式学級回避と老朽化している校舎整備に重点を置いた下記の第2案及び第3案といたしました。

なお、従来提案の第1案、及び第2案については、新小学校の設置場所として筑後中学校隣接地も候補とします。

第1案

従前より提案していた筑後中学校区の6小学校を統合する案です。新小学校の設置場所により、水田小学校及び水田コミセン敷地をA案、筑後中学校隣接地をB案とします。

この案は、基本構想でお示しした学校全体の適正な児童数を大きく超える案となり、最新の推計により児童数が上方修正となったことを考慮すれば、保護者、地域の皆様の大規模校に対する不安解消のため、更に丁寧な説明を行う必要があります。

第2案

複式学級の回避が必要な古川小学校、下妻小学校、古島小学校と水田小学校の4校を統合する案です。

新小学校の設置場所により、水田小学校及び水田コミセン敷地の一部をA案、筑後中学校隣接地をB案とします。

水洗小学校と二川小学校は当面は学校全体の適正な児童数を下回る学校のまま残ることになり、児童数や学校施設等の状況変化を見ながら、さらなる再編について検討することとします。

水洗小学校の施設はすでに老朽化が進んでおり、一旦、長寿命化改修が必要になるため、再編の検討は20年から30年後となることを想定しています。

第3案

複式学級の回避が必要な古川小学校、下妻小学校、古島小学校のうち下妻小学校、古島小学校は水田小学校と統合（3校統合）し、古川小学校は水洗小学校と統合（2校統合）する案です。

3校統合校の設置場所は現水田小学校と水田コミュニティセンターの一部の敷地とします。

2校統合校は開校後に学校全体の適正な児童数を下回る学校となる可能性があります。

設置場所は現水洗小学校敷地としますが、校舎等施設を整備する期間は古川小学校で統合校をスタートすることを検討します。その期間は古川小学校に不足する教室分の仮校舎を整備します。

二川小学校は当面は学校全体の適正な児童数を下回る学校のまま残ることになり、児童数や学校施設等の状況変化を見ながら、さらなる再編について検討することとします。

2校統合と3校統合を同時に進めるのか、時期をずらすのかも課題となります。

3. 今後の進め方

本日お示しをした新たな再編案については、これから詳細に検討を重ねなければならない段階のものであり、まだ説明会を開催して説明できるレベルの案にはなっていません。

これから3つの枠組みの案を中心に新設校となる学校の場所、コスト、スクールバス運行などさまざまな検討を行っていきます。

検討いたしました結果や市民への説明方法を含めて、今後、市議会の皆様と協議し、保護者、地域等への説明会を行っていきたいと考えています。